

谷相新聞

発行
中央東農業振興センター
0887-53-3039

紙面

谷相集落がエコ型モデル集落に選定
水稲栽培研究会を開設
集落座談会を開催

この新聞は、中央東農業振興センターが、谷相集落で行った活動を、地域の皆様にご紹介するために作成したものです。

みんなで創る谷相地区

中央東農業振興センター農業改良普及課では、香美市、土佐香美農協と連携し、谷相地区をモデル集落として、集落営農活動への支援を行っています。

これまでの集落座談会やアンケートで、「農地を守っていくためには、まず『米』から話し合おう」との合意を得て、「米の有利販売」「米の農作業受委託」について話し合いを進め少しずつ形が作られてきています。

エコ型モデル集落に選定

この度、谷相集落が、エコ型集落営農モデル育成事業の「モデル集落」に選定されました。

この事業は、平成二十年から三十九年の事業で集落の合意に基づき、「園芸品目等の導入・生産拡大によって、一定規模のまとまりを持った栽培・経営を行い、農業で生活していける所得の確保を目指す」ことを目的に、公募でモデル集落が選定される事業です。

四月二十二日「谷相公会堂」において開催した、「エコ型集落営農モデル育成事業」説明会で、谷相集落が事業に公募することについて集落で合意され、香美市・農業振興センターを通じて県に事業申請を行いました。

その結果、五月二十三日に、谷相集落をはじめ県内では、北川村久府付集落や本山町吉延集落など十集落が選定されました。



事業説明会風景

第4回水稲栽培講習会を開催

五月二十八日旧谷相小学校において、水稲栽培研究会を開催しました。

1 エコファーマーの認定書について

昨年二月に八名がエコファーマー申請（認定作物：水稲）を行い、平成二十年五月十二日付けで高知県知事から認定の通知を受けました。

水稲栽培について参加者からは、「昨年病害虫の発生状況を随時報告してもらったので、早めに対応することができ本当に良かった」とや「昨年度は『ブノメイガ』の発生が多かったが、次の年も発生が多くなるのか？」等質問がありました。

2 水稲の農作業受委託について

昨年度からの集落座談会で、農作業受託組織の必要性については合意されています。

研究会では組織の規約や作業料金、既存の機械を含め組織で必要な機械の検討を行い、組織の立ち上げに向けて取り組みを始めています。

今後は、「草刈りなどの管理を請け負う組織が必要」との意見や「農地を荒らさないよう管理をして欲しい」との声もありました。



認定書授与風景



エコファーマー認証シール

老爺柿を定植しました！

集落営農について検討を進める中で、野菜、果樹、花き、花木類の紹介をしたところ、老爺柿（花木）の栽培希望者が九名ありました。

そこで、JA土佐香美香北支所花き部会の協力を得て、三月七日に谷相集落へ老爺柿の苗木を配布しました。切り枝として収穫が可能となるには定植後三〜四年かかりますが、栽培管理や収穫・調整作業が容易なことから高齢者でも取り組みやすい品目です。



老爺柿写真



苗木の掘り起こし

集落座談会を開催

六月二七日、旧谷相小学校において集落座談会を開催しました。これまでの座談会でも、所得のあがる品目に取組んでみたい」「直販向け野菜についても検討してみたい」「振興センターからも品目の提案をして欲しい」等意見が出されていました。

今回、園芸品目や有望花木（アジサイ、青ネギ、ブロッコリー、ウルイ）の提案を行い、アジサイについては、9名が栽培を希望しました。

直販向け園芸品目については、直販部会（仮称）を立ち上げ検討を進めることとなりました。



座談会風景



物部でのほ木確保風景

アジサイを挿し木しました！

七月一日に、花木研究会やJAの協力を得て、有望花木のアジサイほ木の確保を行いました。
七月二日には、アジサイ栽培希望者が谷相集落で約二千本の挿し木を行いました。

老爺柿と同様に、アジサイの収穫が可能となるには、約三年かかりますが、アジサイは、栽培管理や収穫調整作業が容易なことから高齢者でも取り組みやすい品目です。

八月下旬に、アジサイ栽培講習会を開催する予定です。



直販部会風景



アジサイ育苗風景

直販部会を開催

七月十七日に谷相公会堂で、直販部会設立に向けて話し合いを行いました。

参加者からは、「施設向け品目については、種苗を共同購入してはどうか」「谷相版栽培暦の検討を行っては

どうか」など積極的な意見が出され、定期的に勉強会を開催することとなりました。

八月二十日に、谷相公会堂において直販部会を開催し、所得向上に向け「直販向け品目」の栽培勉強会を行う予定です。

直販に興味のある方は、是非ご参加ください。

先進地研修を行いました！

七月二十三日、集落営農の先進地である四万十市富山集落において、富山地区農業機械銀行「田助」や「東富山を守る会」の取り組みについて、谷相集落の農家十八名が研修を行いました。

参加者からは、「農地の条件が悪い場合はどうしているのか」「オペレーターの年齢構成は」「集落の高齢化率はどれくらいか」等の質問が出され、帰りのバスの中では、「谷相集落は、富山集落と比較して農地等の条件が恵まれている」と集落のよさを改めて確認していました。



富山集落風景



研修風景

座談会に参加しよう！

今後は、「谷相集落が維持発展」するために、アンケートや座談会を出された意見をもとに谷相集落のビジョンを作成し、話し合いを進めていきます。

これらの会は、地域の皆さんの参加がないと「始まり」座談会ですので、今まで参加された方も、途中から参加はしにくいと思っていらいっしょやる方も、皆様お誘い合わせのうえぜひご参加ください。

【お知らせ】

9月上旬に谷相公会堂において、直販部会を開催する予定です。

9月に谷相公会堂において集落座談会を開催する予定です。

【集落営農組織とは】

ひとつの農家では解決できない地域の農業のいろいろな問題を、集落のみんなと知恵と力を出し合って解決し、集落づくりにつなげていくことです。

【うち型集落営農モデル育成事業とは】

集落内の合意形成により、農業機械の共同利用や作業の受委託などを更に進め、園芸品目などの導入・生産拡大によって一定規模のまとまりを持った栽培・経営を行い、農業で生活できる所得の確保を目指す「うち型集落営農」のモデル集落の育成に取り組むものです。

【エコファーマー】

持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づき、土づくりや化学肥料・化学農薬の低減を一体的に行うことを内容とする計画を知事に提出し、持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画」の認定を受けた農業者の愛称です。

発行：

中央東農業振興センター農業改良普及課

連絡先：

香美市土佐山田町加茂 777

TEL:0887-53-3039